



Japan Flower Selections PRESS

Garden Plant Division 2022

ジャパンフラワーセレクション

ガーデニング部門2022

入賞・特別賞受賞品種のご紹介

ガーデニング部門

Spring
Summer
Autumn



ガーデニング部門の入賞・特別賞が決定しました。



いい花の新基準。

<http://www.jf-selections.net/>

ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
一般財団法人日本花普及センター内

TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743
メール : jfpc@jfpc.or.jp

Japan Flower Selections Garden Plant Division

全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション（JFS）」のガーデニング部門では、2022年度は、花壇やコンテナ等で楽しむことができる品種を選定する審査・観察会を5回実施しました。

審査・観察会は、千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市：千葉大学柏の葉キャンパス）にあるJFSトライアル花壇において栽培試験を実施し、生育過程の観察を行いました。

千葉大学環境健康フィールド科学センター JFSガーデニング部門審査圃場（露地花壇・屋根付き施設）の様子
JFS Trial Garden & Green House at Center for Environment, Health and Field Sciences, Chiba University.



Field Examination 審査会実施概要

■審査会：①2022年5月19日 ②6月7日 ③7月28日 ④9月14日 ⑤11月1日

■植栽・審査会場：千葉大学 環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市）

Judges 審査員

国内の花き業界を代表する学識者、ガーデンデザイナー、花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行いました。

部門長
山本岳史 Takeshi Yamamoto
豊明花き(株) 企画本部外商部 部長

杉井志織 Shiori Sugii
はなぐみ 代表

山口まり Mari Yamaguchi
(一社)日本ハンギングバスケット協会 理事

尾崎明弘 Akihiro Ozaki
(株)オザキフラワーパーク
代表取締役

村上智弘 Tomohiro Murakami
(株)フラワーオークションジャパン
鉢物部 部長

渡辺 均 Hitoshi Watanabe
千葉大学環境健康フィールド科学センター
教授



なお、これら入賞した品種の中から、総合的に優秀な品種に与えられるベスト・フラワー（優秀賞）並びに新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを持つ品種に与えられる特別賞の受賞品種も決定いたしました。ベスト・フラワー（優秀賞）は、この年の最優秀賞である「フラワー・オブ・ザ・イヤー」の候補となります。



◆露地花壇 群植した時のパフォーマンスを確認 (群植)

2022/5/26
(定植後1日)



2022/7/21
(定植後57日)



2022/9/1
(定植後99日)



JFS Trial Garden for group planting



◆屋根付き施設 1株のパフォーマンスを確認、8~9号鉢に定植して観察 (単株)

2021/11/11
(定植後6日)



2022/5/10
(定植後186日)



2022/6/20
(定植後227日)



JFS Trial Green House for single planting

JFSガーデニング部門の審査は、数か月にわたりJFSの審査花壇（千葉大学環境健康フィールド科学センター）にて2~3週間ごとに栽培記録をつけ、生育経過を観察した資料と現地での審査で行います。

栽培方法は？・・・植栽計画や維持管理は千葉大学環境健康フィールド科学センターの監修で行われています。

露地花壇と屋根付きの施設の中で行い、それぞれの環境下での生育を観察しています。

メンテナンスは一般家庭における管理方法を想定したメンテナンスを行います。

審査方法は？・・・栽培試験では定期的に写真撮影と計測による栽培記録シートを作成。栽培記録シートも参考にしながら、植栽場所で現地審査（採点評価・協議）を行います。

◆「ガーデニング部門」出品募集中！

定植時期や、観察希望期間、出品料について詳しくはご相談ください。

2023年度審査会への出品をご検討の方は、早めにご相談ください。

栽培観察・審査場所：

千葉大学環境健康フィールド科学センター

出品に関するお問い合わせは

jfpc@jfpc.or.jp へ！

■出品料：1品種1期（1~3か月）30,000円（税込33,000円）

ただし、（一財）日本花普及センターの賛助会員のうち団体会員A（都道府県、各種団体、企業、協同組合）の方は1品種1期 20,000円（税込22,000円）の特別価格が適用されます。（休会中の会員については適用されません）

例）4月~9月までの観察を希望される場合は、30,000円×2期=60,000円（税込66,000円）の出品料となります。

特別価格の適用の場合は、20,000円×2期=40,000円（税込44,000円）となります。

3か月の観察後の延長観察のご希望は、1か月単位で承ることができるようになりました。追加の出品料は1品種1か月10,000円（税込11,000円）となります。

特別価格の適用の場合は、7,000円（税込7,700円）となります。

ベスト・フラワー（優秀賞） 【ライフデザイン/ニューバリュー特別賞 同時受賞】
コレオプシス「アップティック クリーム」(株)エム・アンド・ビー・フローラ

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp/>

育成者：Darwin Perennials

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2022年4月12日～11月1日

審査講評： 優しいクリーム色の花は遠目にも人目をひく上に、ガーデンデザインに使いやすい色。淡いグリーンの葉色との組み合わせもよく、ベスト・フラワー（優秀賞）にライフデザイン特別賞、ニューバリュー特別賞の2つの特別賞も同時受賞。

弁先が細く割れて、可憐で涼し気な花形。連続開花性に優れ、コンパクトでバランスのよい草姿。夏越し後も株割れせずに状態よく広がってボリュームがある。むしろ密植にしないほうがよく、寄せ植えよりもランドスケープ向きだろう。



7/28撮影



7/28撮影



7/28撮影



屋根付き施設



▲2022/6/17
(定植後66日)



▲2022/7/21
(定植後100日)



▲2022/9/1
(定植後142日)



▲2022/10/27
(定植後198日)



露地花壇



▲2022/6/17
(定植後66日)



▲2022/7/21
(定植後100日)



▲2022/8/18
(定植後128日)

▲2022/4/20
(定植後8日)

ベスト・フラワー（優秀賞）

【ニュースタイル/ガーデンパフォーマンス/フレグランス特別賞 同時受賞】

バジル 「エバーリーフタイトワー」(株)エム・アンド・ビー・フローラ



9/14撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：http://www.mbflora.co.jp/

育成者：Pan American Seed

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2022年4月26日～9月14日

審査講評：高性種のバジル。スイートバジルとは違うタイバジルの強い芳香で、フレグランス特別賞を受賞。

生育が早いですが、一般的なバジルよりも開花は10～12週晩生のため、長期間にわたって多量収穫が可能というセールスポイントがそのまま確認できた。

よくまとまった直立型の株姿が個性的で、食用でなく観賞用として花壇植えにしても楽しめるため、ベスト・フラワー（優秀賞）、ニュースタイル特別賞とガーデンパフォーマンス特別賞も同時受賞。初心者でも簡単に育てることができそうなところもよい。夏越し後も葉色、株の状態ともによく、楽しみの多い優れた品種。



9/14撮影



9/14撮影

屋根付き施設



▲2022/5/10
(定植後14日)



▲2022/5/24
(定植後28日)



▲2022/6/17
(定植後52日)



▲2022/7/21
(定植後86日)

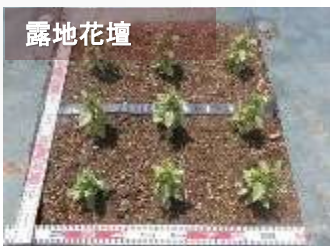


▲2022/8/4
(定植後100日)



▲2022/9/1
(定植後128日)

露地花壇



▲2022/5/10
(定植後14日)



▲2022/6/7
(定植後42日)



▲2022/7/21
(定植後86日)



▲2022/9/1
(定植後128日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [カラークリエイト特別賞 同時受賞]

コリウス 「フレームスローワー スパイスドカレー」
(株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
 (山梨県)

ホームページ：http://www.mbflora.co.jp/

育成者：Ball Horticultural Company

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2022年4月26日～11月1日

審査講評：切れ葉タイプの美しいコリウス。発色のよいレッド&マスタード色の葉色に新奇性があり、ベスト・フラワー（優秀賞）とカラークリエイト特別賞同時受賞。単植でも混植でも新しい扱いができそう。梅雨明け、夏越し後も枯れ上がりがなく大株に育ち、葉色が鮮やか。花上がりが少ないため観賞期間が長い。草丈が伸びすぎると株割れするが、茎の下部に脇芽があるので適宜ピンチするとよいかもしれない。

シックな色合いで、夏から秋の長期間にかけて 大型花壇などで目を惹くだろう。



▲2022/5/10
 (定植後14日)

▲2022/6/7
 (定植後42日)

▲2022/8/4
 (定植後100日)

▲2022/9/15
 (定植後142日)

▲2022/10/27
 (定植後184日)



▲2022/5/10
 (定植後14日)

▲2022/6/17
 (定植後52日)

▲2022/7/21
 (定植後86日)

▲2022/9/1
 (定植後128日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞 同時受賞]

スカエボラ 「サンク・エール ブルーグラデーション」 サントリーフラワーズ(株)



9/19撮影

受賞者：サントリーフラワーズ株式会社
(東京都)

ホームページ：<http://suntory.jp/FLOWER>

育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社

観察期間：2022年5月17日～11月1日

審査講評：小さな扇形の花は、白から濃い青色へと美しいグラデーションをなし、スカボエラとしては新規性がある。屋根付き施設よりも露地花壇でグラデーションが出やすかった。

株は暴れずコンパクトにまとまりながら、多花性で花が密集してつき、連続開花性にも優れている。コンテナでもガーデンでもどちらに植えてもよいパフォーマンスが見られたためベスト・フラワー（優秀賞）とコンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞を受賞した。夏越し後は花色が濃くなり、グラデーション感が減るが、花の傷みも目立たなかった。



11/1撮影



11/1撮影



屋根付き施設

▲2022/5/24
(定植後7日)



▲2022/6/17
(定植後31日)



▲2022/8/4
(定植後79日)



▲2022/9/15
(定植後121日)



▲2022/10/27
(定植後163日)



▲2022/5/24
(定植後7日)



▲2022/7/21
(定植後65日)



▲2022/8/18
(定植後93日)



▲2022/9/15
(定植後121日)



▲2022/10/27
(定植後163日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞 同時受賞]

ペチュニア「スーパーチュニア ラヴィドゥヴィ」(株)ハクサン



受賞者：株式会社ハクサン（愛知県）

ホームページ：<https://hakusan1.co.jp/>

育成者：WINGEN LLC.

育成者権者：J&Hジャパン

観察期間：2022年5月25日～11月1日

審査講評：小輪の花がかわいらしく、中心に入るラインが華やかなペチュニア。株を覆うように開花するというセールスポイント通りに、こんもりと仕上がった。

夏以降は花色は退色せず、連続的に開花し耐暑性、耐雨性に優れ、蒸れにも比較的強かった。花数、花もちに関して標準レベル以上で消費者の期待を裏切らないだろう。

コンテナでもガーデンでもどちらでも優秀な品種で、ベスト・フラワー（優秀賞）とコンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞を受賞した。



▲2022/5/26
(定植後1日)

▲2022/7/8
(定植後44日)

▲2022/8/4
(定植後71日)

▲2022/9/1
(定植後99日)

▲2022/9/29
(定植後127日)



▲2022/5/26
(定植後1日)

▲2022/7/7
(定植後43日)

▲2022/8/18
(定植後85日)

▲2022/9/15
(定植後113日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞 同時受賞]

コレオプシス「リーディングレディ シャーリーズ」(株)ハクサン



7/28撮影

受賞者：株式会社ハクサン（愛知県）
 ホームページ：<https://hakusan1.co.jp/>
 育成者：Dummen Orange
 育成者権者：Dummen Orange
 観察期間：2022年5月25日～11月1日
 審査講評：長期間咲く宿根コレオプシス。宿根性だが低温に遭わなくても初年度から開花する。鮮やかなイエローが印象的。大輪で半八重咲きの花は立体感がある。花がらが目立たず、花が風に揺れる姿が涼しげで遠目にも美しい。定植後から咲き始め、観察終了の11月にもまだ咲き続けていた。夏越し後はやや株が乱れたが、下部に脇芽もあり切り戻しも可能。コンパクトにまとめ生育良好で、ベスト・フラワー（優秀賞）とコンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞同時受賞。



7/28撮影



7/28撮影

屋根付き施設



▲2022/5/26
(定植後1日)



▲2022/7/7
(定植後43日)



▲2022/8/4
(定植後71日)



▲2022/9/1
(定植後99日)



▲2022/9/29
(定植後127日)

露地花壇



▲2022/5/26
(定植後1日)



▲2022/7/7
(定植後43日)



▲2022/8/4
(定植後71日)



▲2022/9/15
(定植後113日)

ベスト・フラワー（優秀賞）〔コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞 同時受賞〕

ガイラルディア 「スピントップ スターバースト」(株)ハクサン



受賞者：株式会社ハクサン（愛知県）
 ホームページ：<https://hakusan1.co.jp/>
 育成者：Dummen Orange
 育成者権者：Dummen Orange
 観察期間：2022年5月25日～11月1日
 審査講評：

大輪多花性で春から冬まで連続開花するガイラルディア。夏の間も止まらず咲き続ける。フラワー・オブ・ザ・イヤー2020受賞の「スピントップ イエロータッチ」がさらに改良された印象。低い位置で開花するので株元が少し枯れ上がっても気にならず、さらにコンパクトになった株姿、大きな花、花後の丸い種子も目立ちすぎることなく、全体にバランスの良い。高温多湿も乗り越え、株割れすることなく、審査終了まで安定してずっと花を楽しめた。

今回の審査で耐寒性は確認できないが、宿根させることで株がより充実し、花数が増えるという。安心しておすすめできる素晴らしい品種。



▲2022/5/26
（定植後1日）



▲2022/7/8
（定植後44日）



▲2022/8/4
（定植後71日）



▲2022/9/1
（定植後99日）



▲2022/10/27
（定植後155日）



▲2022/5/26
（定植後1日）



▲2022/7/21
（定植後57日）



▲2022/9/1
（定植後99日）



▲2022/10/27
（定植後155日）

コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞

アジサイ「エンドレスサマー サマークラッシュ」高松商事(株)



受賞者 : 高松商事株式会社 (千葉県)
 ホームページ : <http://www.tacflower.jp>
 育成者 : Joshua Kardos
 育成者権者 : Bailey Nurseries, Inc
 観察期間 : 2021年11月5日～10月15日
 審査講評 : いつ切っても翌年に花が咲く新旧両枝咲きのアジサイは、初心者でも気軽に楽しめる。よくまとまりコンパクトで、鉢植えのほか日本の狭小庭に向いていることから、コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞受賞。花房は小さく、多花性、矮性で節間が短い。ピンチ後の株は、株元からも新芽が出ていて期待できる。

6/7撮影



6/7撮影



6/7撮影



▲2021/11/11 (定植後6日)

▲2022/1/4 (定植後60日)

▲2022/3/24 (定植後139日)

▲2022/5/10 (定植後186日)

▲2022/6/20 (定植後227日)

▲2022/10/13 (定植後342日)



▲2021/11/11 (定植後6日)

▲2022/1/4 (定植後60日)

▲2022/4/5 (定植後151日)

▲2022/5/24 (定植後200日)

▲2022/6/17 (定植後224日)

コンテナパフォーマンス特別賞

ペチュニア「ゆうやけこやけ」(株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp/>

育成者：(株)ミヨシ

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2022年3月29日～9月14日

審査講評： 外側がオレンジ色、中心はブラウンの花は、深みのある特徴的な色合いで新奇性がある。温度による花色の退色は少ない。耐雨性、耐暑性にも優れ、連続開花性があるため、見応えがある。雨よけ施設内のコンテナ植えではさらに花傷みが少なかった。

ピンチしてもしなくても株がよくまとまり、株の乱れが少ないので、初心者にも育てやすい。コンテナパフォーマンス特別賞受賞。



▲2022/4/5
(定植後7日)

▲2022/5/10
(定植後42日)

▲2022/6/20
(定植後83日)
6/28 ピンチ

▲2021/7/8
(定植後101日)

▲2022/9/1
(定植後156日)



▲2022/4/5
(定植後7日)

▲2022/6/20
(定植後83日)
6/28 ピンチ

▲2022/7/7
(定植後100日)

▲2022/7/21
(定植後141日)

▲2022/9/1
(定植後156日)

コンテナ・ガーデンパフォーマンス/フレグランス特別賞 同時受賞

ラベンダー「プリマベラ」(株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ (愛知県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp/>

育成者：Darwin Perennials

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2022年3月29日～11月1日

審査講評：特徴的な花房が人目を引く、大輪、分枝性に優れた多花性のラベンダー。連続開花性にも優れ、株張りよくコンパクトにまとまる。

苞葉が大きく、花がらが目立たないのも利点。耐暑性に優れ、蒸れることなく枯れあがりも少ない。強健で揃いもよい。露地花壇、コンテナ植えのどちらでもよいパフォーマンスを見せコンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞、フレグランス特別賞を同時受賞。



▲2022/4/5 (定植後11日)

▲2022/4/20 (定植後26日)

▲2022/5/10 (定植後46日)

▲2022/6/17 (定植後84日)

▲2022/7/21 (定植後118日)

▲2022/10/27 (定植後216日)



▲2022/4/5 (定植後11日)

▲2022/5/10 (定植後46日)

▲2022/6/17 (定植後84日)

▲2022/10/27 (定植後216日)

コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞

ジキタリス 「アークティック フォックスローズ」

(株)エム・アンド・ビー・フローラ

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp/>

育成者：Darwin Perennials

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2022年4月12日～11月1日

審査講評：多花性で連続開花性に優れ、扱いやすい花色で活用の幅が広いジキタリス。分枝性に富み、株張りがよくまとまっているため、コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞。

草丈も大きくなりすぎないタイプ。低温処理不要で開花に至るが、開花するまでに時間を要した。また、夏は株自体の傷みは少ないものの、花は休んでいたのが少し残念だが、少しずつでも常に咲き続けていた様子は確認できた。



1/1撮影



9/1撮影



6/14撮影



屋根付き施設

▲2022/4/20
(定植後83日)



▲2022/6/7
(定植後56日)



▲2022/6/17
(定植後66日)



▲2022/7/8
(定植後87日)



▲2022/9/29
(定植後170日)



露地花壇

▲2022/4/20
(定植後8日)



▲2022/9/1
(定植後142日)



▲2022/9/29
(定植後170日)



▲2022/10/27
(定植後198日)

ガーデンパフォーマンス特別賞

カリブラコア 「シャル・ウィ・ダンス グッドナイトキッス」

(株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp/>

育成者：Ball Horticultural Company

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2022年4月12日～9月14日

審査講評：

個性的で新奇性に富みながら、シックで落ち着いた花色。高温期でも花色は退色なく、連続開花性に優れていた。分枝もよく、花首が短いためにコンパクトによくまとまり、ハンギングバスケットにも利用したい。

屋根付き施設での栽培もよいが、露地花壇では、夏越ししたとは思えないような状態で咲き続け、雨にも強く、特に素晴らしかった。ガーデンパフォーマンス特別賞を受賞。

7/28撮影



9/14撮影



6/7撮影



屋根付き施設



▲2022/4/20
(定植後8日)



▲2022/5/24
(定植後42日)

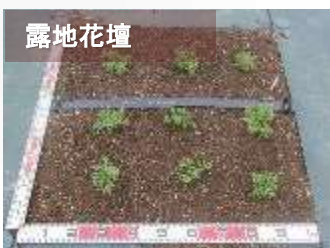


▲2022/6/17
(定植後66日)
6/28 ピンチ



▲2022/7/8
(定植後87日)

▲2022/7/21
(定植後100日)



露地花壇



▲2022/4/20
(定植後8日)



▲2022/5/24
(定植後42日)



▲2022/7/7
(定植後86日)

▲2022/9/1
(定植後142日)

コンテナパフォーマンス特別賞

バーベナ「ファイヤーハウス ブルーフィズ」(株)エム・アンド・ビー・フローラ



8/18撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp/>

育成者：Ball Horticultural Company

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2022年4月12日～9月14日

審査講評：薄紫色と白のバイカラーが夏に涼しげ。花色の変化も楽しめる。多花性で夏の間も連続開花性に優れ、バランスがよい。丈夫で耐暑性、うどんこ病耐性にも優れる点も評価できる。

株元からも新芽を出してよく分枝するが株は暴れず、まとまってマウンド状に生育することから、コンテナパフォーマンス特別賞受賞。ハンギングバスケットにもおすすめ。



6/14撮影



7/28撮影



屋根付き施設



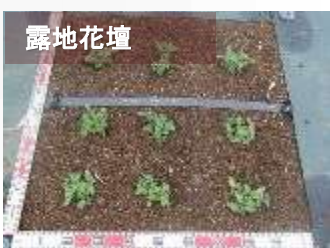
▲2022/4/20
(定植後8日)

▲2022/5/24
(定植後42日)

▲2022/7/8
(定植後87日)

▲2022/8/4
(定植後114日)

▲2022/9/1
(定植後142日)



露地花壇



▲2022/4/20
(定植後8日)

▲2022/5/24
(定植後42日)

▲2022/7/7
(定植後86日)

▲2022/8/18
(定植後128日)

カラークリエイト/コンテナパフォーマンス特別賞 同時受賞

カリオペテリス 「ゴールドクレスト」 (株) エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)

ホームページ：http://www.mbflora.co.jp/

育成者：Darwin Perennials

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2022年5月31日～11月1日

審査講評：鮮やかなライムグリーン色の葉と薄紫色の花色とのコントラストが美しく、涼しげな印象。カラーリーフとしても活用でき、カラークリエイト特別賞受賞。

連続開花性に優れる。屋根付き施設内のコンテナ植えのほうが生育がよく、コンテナパフォーマンス特別賞も同時受賞した。株がややまとまりにくく、使い方の提案も必要。ナチュラルな雰囲気もガーデンにも似合う。

11/1撮影



11/1撮影



11/1撮影

屋根付き施設



▲2022/6/7 (定植後7日)



▲2022/7/21 (定植後51日)



▲2022/8/18 (定植後79日)

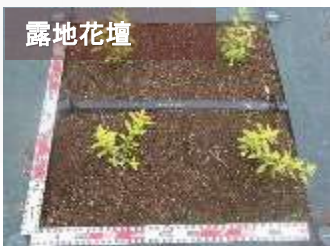


▲2022/9/15 (定植後107日)



▲2022/9/29 (定植後121日)

露地花壇



▲2022/6/7 (定植後7日)



▲2022/8/4 (定植後65日)



▲2022/9/29 (定植後121日)



▲2022/10/27 (定植後149日)

ニューバリュー/ガーデンパフォーマンス特別賞 同時受賞

カラジウム 「ハートトゥハート ローズグロウ」(株)ハクサン



受賞者：株式会社ハクサン（愛知県）
 ホームページ：<https://hakusan1.co.jp/>
 育成者：Proven Winners North America LLC
 育成者権者：Proven Winners North America LLC
 観察期間：2022年6月28日～11月1日
 審査講評：

直射日光下でも旺盛に生育し、葉焼けや色あせしにくい。日に当てれば赤色と緑色のコントラストがより際立ち、花壇や寄せ植えのフォーカルポイントにも活用できる。
 花壇植えも可能なことからガーデンパフォーマンス特別賞、ニューバリュー特別賞 同時受賞。早めに植えて、秋花壇の前には掘り上げて球根を保存するのがよいだろう。

9/14撮影



7/28撮影



9/14撮影



屋根付き施設



▲2022/7/8 (定植後10日)

▲2022/8/4 (定植後65日)

▲2022/8/18 (定植後79日)

▲2022/9/29 (定植後121日)

▲2022/10/27 (定植後149日)



露地花壇



▲2022/7/7 (定植後9日)

▲2022/8/4 (定植後65日)

▲2022/9/1 (定植後93日)

▲2022/10/27 (定植後149日)

入賞 レウカンセマム「ホワイトライオン」(株)エム・アンド・ビー・フローラ



6/7撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp/>

育成者：Pan American Seed

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2021年12月17日～9月14日

審査講評： 花色は従来品種と変わらないが、低温処理が不要で早春の短日でも開花するため、早期販売に最適の実生系品種。今回の観察では、セールスポイントの早春の短日での開花が確認されなかったが、冬越しが充実すれば、翌春早めから咲くとのこと。

大輪多花性で株にボリュームがあり、分枝性に優れ株姿のバランスがとてもよいが、株に多少のばらつきがあった。夏までは連続開花性に優れる。株割れ、下葉の枯れは少ないが、夏越しはやや厳しいか。



6/7撮影



6/7撮影



屋根付き施設

▲2021/12/21
(定植後4日)



▲2022/5/10
(定植後144日)



▲2022/6/7
(定植後172日)



▲2022/9/1
(定植後258日)



▲2022/10/27
(定植後314日)



露地花壇

▲2021/12/21
(定植後4日)



▲2022/5/10
(定植後144日)



▲2022/6/20
(定植後185日)



▲2021/10/27
(定植後314日)

入賞 バラ「Zepeti」(株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp/>

育成者：Meiland

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2022年3月29日～11月1日

審査講評：小ぶりなコンテナでも栽培可能な矮性品種のバラ。花色もよく、連続開花性に優れる。耐暑性、耐寒性に富み、冬でも落葉せず常緑を維持する。

花弁が硬く花もちがよいが、咲き進んだ時に花弁の先端が黒く傷むのが残念。よくまとまり分枝性に優れ花芽も多いが、高温化だと花がやや小さかった。

バラの花ならではのインパクトにやや欠けるものの、高温期にも花が休むことはなく、咲き続けることは評価された。



▲2022/4/5
(定植後11日)



▲2022/6/7
(定植後74日)



▲2022/7/8
(定植後105日)



▲2022/9/1
(定植後160日)



▲2022/10/27
(定植後216日)



▲2022/4/5
(定植後11日)



▲2022/6/7
(定植後74日)



▲2022/8/4
(定植後132日)



▲2022/9/1
(定植後160日)



▲2022/10/27
(定植後216日)

入賞 ダイアンサス「フルーリアムール ルージュ」(株)ハクサン



受賞者：株式会社ハクサン（愛知県）
 ホームページ：<https://hakusan1.co.jp/>
 育成者：InnovaPlant GmbH & Co. KG
 育成者権者：J&Hジャパン
 観察期間：2022年3月29日～11月1日
 審査講評

分枝性、連続開花性に優れた多花性のダイアンサス。コンパクトでよくまとまる草姿なので、小さなスペースのコンテナ植えや寄せ植えに向く。芳香もよい。多花性で秋まで繰り返し咲き、雨よけ下でのコンテナ植えでは状態よく維持できた。ただし、夏の花壇では花数減少。夏越し前に10cm程度の高さで切り戻し、草姿を整えるとよいだろう。

6/7撮影



9/14撮影



9/14撮影



屋根付き施設



▲2022/4/5
(定植後11日)

▲2022/5/10
(定植後46日)

▲2022/7/8
(定植後105日)

▲2022/9/15
(定植後174日)

▲2022/10/27
(定植後216日)



露地花壇



▲2022/4/5
(定植後11日)

▲2022/5/10
(定植後46日)

▲2022/6/17
(定植後84日)

▲2022/8/4
(定植後132日)

入賞 ペチュニア「サフィニアアート りりいろ風ぐるま」サントリーフラワーズ(株)



7/28撮影

受賞者：サントリーフラワーズ株式会社 (東京都)

ホームページ：<http://suntory.jp/FLOWER>

育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社

観察期間：2022年4月12日～11月1日

審査講評：白地の花に風車のような涼しげな模様が入る。気温や栽培条件によって模様の出方に变化がある面白みがあるペチュニア。連続開花性に優れ、まとまりよく分枝性に富む。花がらが目立たない。

夏の花は白が多く模様が薄くなり、葉の茂りは悪くなった。花壇植えよりも雨よけ下のコンテナ植えのほうが見栄えがよかった。



11/1撮影



11/1撮影



▲2022/4/20 (定植後8日)



▲2022/5/24 (定植後42日)



▲2022/6/7 (定植後56日) 6/28 ピンチ



▲2022/7/8 (定植後87日)



▲2022/8/4 (定植後114日)



▲2022/4/20 (定植後8日)



▲2022/6/7 (定植後56日)



▲2022/7/7 (定植後86日)



▲2022/9/1 (定植後142日)



▲2022/9/29 (定植後170日)

入賞 アリッサム「イージーブリージー ホワイト」

(株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：http://www.mbflora.co.jp/

育成者：Ball Horticultural Company

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2022年4月12日～9月14日

審査講評：分枝性が高いのにコンパクトな株を保つ多花性品種。連続開花性に優れ、咲きながら株が大きくなる。早春から6月までと観賞期間が長い。見た目の新奇性には欠けるが、クリーム色がかかった花色は、多様な花となじみやすいだろう。真夏にもかかわらず株割れもなく、しっかり根を張っており耐暑性に優れる点は評価できる。

6/7撮影



6/7撮影

7/28撮影



屋根付き施設

▲2022/4/20
(定植後8日)

▲2022/5/24
(定植後42日)

▲2022/6/17
(定植後66日)

▲2022/7/8
(定植後87日)

▲2022/9/1
(定植後142日)



露地花壇

▲2022/4/20
(定植後8日)

▲2022/5/24
(定植後42日)

▲2022/6/17
(定植後66日)

▲2022/7/7
(定植後86日)

入賞 サルビア 「ミラージュ チェリーレッド」

(株)エム・アンド・ビー・フローラ

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp/>

育成者：Ball Horticultural Company

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2022年4月12日～9月14日

審査講評

発色がよい大きめの花は、多花性で見応えがある。開花期間は一般的なチェリーセージと変わらないが、耐暑性、連続開花性に優れ夏越しできる。よく分枝してドーム状にまとまり、雨よけ下のコンテナ植えでは徒長せず、よいパフォーマンスを見せてくれた。ただし花壇では少し寂しいように感じる。



6/7撮影



6/7撮影



6/7撮影



屋根付き施設

▲2022/4/20
(定植後8日)



▲2022/5/24
(定植後42日)



▲2022/6/17
(定植後66日)



▲2022/8/4
(定植後114日)



▲2022/9/1
(定植後142日)



露地花壇

▲2022/4/20
(定植後8日)



▲2022/6/17
(定植後66日)



▲2022/7/21
(定植後100日)



▲2022/9/1
(定植後142日)

入賞 サルビア 「サルバトールブルー」(株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：http://www.mbflora.co.jp/

育成者：Pan American Seed

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2022年4月12日～7月28日

審査講評：サルビア「ニューディメンションブルー」と比較して、より花穂が長く花色の濃さが魅力。花と萼の色が似ているため花がらが目立たなく、ローメンテナンスといえるだろう。外構植栽に利用できそうだが、コンパクトな株姿で花壇植えより雨よけ施設内でのパフォーマンスのほうが優れており、コンテナ植えに向きといえそう。

6/7撮影



6/7撮影



6/7撮影



屋根付き施設

▲2022/4/20
(定植後8日)



▲2022/5/10
(定植後28日)



▲2022/6/7
(定植後56日)



▲2022/6/7
(定植後56日)



▲2022/7/8
(定植後87日)



露地花壇

▲2022/4/20
(定植後1日)



▲2022/5/24
(定植後35日)



▲2022/6/17
(定植後159日)



▲2022/7/7
(定植後79日)



1. フLOWER・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。
各審査会での「ベスト・フラワー(優秀賞)」(10点満点の8.0点以上)から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会で決定します。

2. ベスト・フラワー(優秀賞)

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。
各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種(10点満点の7.0点以上)の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。
なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあるだけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでになかった新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでになかった価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「カラークリエイティブ特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」

(切花部門・鉢物部門)
これまで比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱いやすく、育てやすい品種に授与されます。

「ジャパニデザイン特別賞」

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあるだけで日々の生活を楽しませ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「コンテナパフォーマンス特別賞」

「ガーデンパフォーマンス特別賞」

(ガーデニング部門)
コンテナとガーデンの両方のパフォーマンスに優れている場合は、「コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞」と表記します。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

「フォトジェニック特別賞」

写真を活用した情報発信やコミュニケーションをしたくなるような写真映えの良さを持つ品種に授与されます。

4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1~3の候補となります。

ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。(マークの使用期限はありません)
ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。
JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRIにご活用ください。



ご存じですか？ ジャパンフラワーセレクションのロゴマーク。

ジャパンフラワーセレクションで「入賞」に選定された品種は、「認定登録」をおこなうことにより、花の業界が推奨する品種として「ジャパンフラワーセレクション受賞マーク」をPRに活用することができます。ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。



ポットに差し込むタグに受賞マークを使用。

HPなどで自社製品の紹介に。

カタログの商品紹介や店頭POPに使用。

受賞マークは、一般の消費者に向けたHPや店頭PRだけでなく、生産者向けのカatalogや市場出荷用のカートンやスリーブにも幅広くご利用いただいています。インターネット通販の商品に表示することで、比較購入の際の動機づけにもご活用いただいています。

■ ジャパンフラワーセレクションの認定登録すると、用途によって使い分けられる6種類のマークをご用意

基本的なロゴマーク 日本花き取引コード（JFコード）あり 全6パターン



*JFコード無しのロゴマークも6パターンあります。

■ ジャパンフラワーセレクションの認定登録した品種が、フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）になった場合は、専用のロゴマークが使用できます。

■ その他、ジャパンフラワーセレクションの広報用のロゴ（全4パターン）もご利用になれます。

フラワー・オブ・ザ・イヤー専用ロゴ 全4パターン



■ JFS認定登録料について

認定登録には別途60,000円（税込66,000円）の認定登録料がかかります。（認定登録は任意です）
認定登録申請書にご記入の上、事務局までお送りください。
認定登録申請書の様式は、jfpc@jfpc.or.jpにご請求いただくか、ホームページから様式をダウンロードしてお使いください。

お問い合わせはこちらへ

<ジャパンフラワーセレクション実行協議会 事務局>

TEL 03-3664-8739 FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp ホームページ: <http://www.jf-selections.net>



ご存知ですか？このマーク。
「いい花の新基準」。
ジャパンフラワーセレクション

ジャパンフラワーセレクション受賞品種は、業界が推奨する優れた品種です。
自信をもってお客様へお勧めください。

* 入賞品種は認定登録をすることで販売やPRにこのマークをご利用いただくことができます。



<http://www.jf-selections.net/>



いい花の新基準。

<http://www.jf-selections.net/>

ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
一般財団法人日本花普及センター内
TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743
メール : jfpc@jfpc.or.jp